

THUMGY Dataの概要

THUMGY Dataは、データ分析用のアプリケーションです。

◇THUMGY Dataの特長

| 特長 | 説明 |
|--------------|--|
| シンプルな操作 | 誰でも簡単に操作できます。 |
| 大量データの処理 | 処理できるレコード件数に制限がありません。 (ただし、PCのスペック、データサイズなどにより、処理速度が低下する場合があります。) |
| ログ（操作履歴）の記録 | ログ（操作履歴）が自動で記録されるため、監査手続の実施過程の記録として利用できます。 |
| スクリプトによる自動化 | ログからスクリプトを作成し、操作を自動化できます。 |
| オープンスクリプトの利用 | 監査に関わる定型的な処理を自動化する「オープンスクリプト」を提供する予定です。 |

◇THUMGY Dataのプロジェクトとファイル構成

● プロジェクト（プロジェクトファイル）

THUMGY Dataでは、データ分析のプラットフォームとして、「プロジェクト」を作成します。プロジェクトを作成すると、PC上にプロジェクトファイルと呼ばれるファイル（拡張子「.tgd」のファイル）が作成されます。

● プロジェクトフォルダ

プロジェクトファイルが格納されるフォルダです。プロジェクトの作成時に、プロジェクトと同じ名前で作成されます。プロジェクトフォルダには、下図の5つのフォルダ（「01_script」～「05_export」）が自動的に作成されます。

THUMGY Dataで作成するスクリプトやテーブルのファイルは、対応するフォルダに格納されます。

（例）「トレーニング01」プロジェクトを作成した場合

| | |
|-------------------|--|
| 📁 トレーニング01 | : プロジェクトフォルダ |
| ├─ 📁 01_script | : プロジェクトで作成したスクリプト（拡張子「.scp」）を格納するフォルダ |
| ├─ 📁 02_log | : プロジェクトのログファイル（拡張子「.log」）を格納するフォルダ |
| ├─ 📁 03_source | : インポート用のソースファイルを格納するフォルダ |
| ├─ 📁 04_table | : テーブルのデータファイル（拡張子「.hdf5」）を格納するフォルダ |
| ├─ 📁 05_export | : Excelなどに出力したデータファイルを格納するフォルダ |
| └─ 📄 トレーニング01.tgd | : プロジェクトファイル |

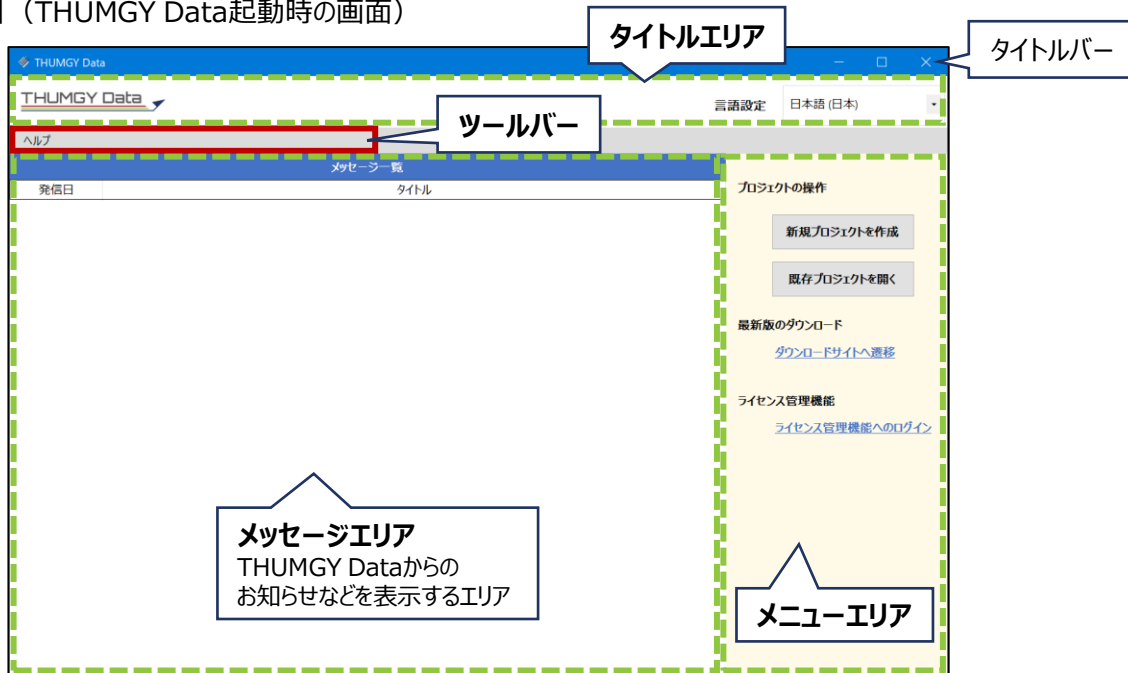


注意！

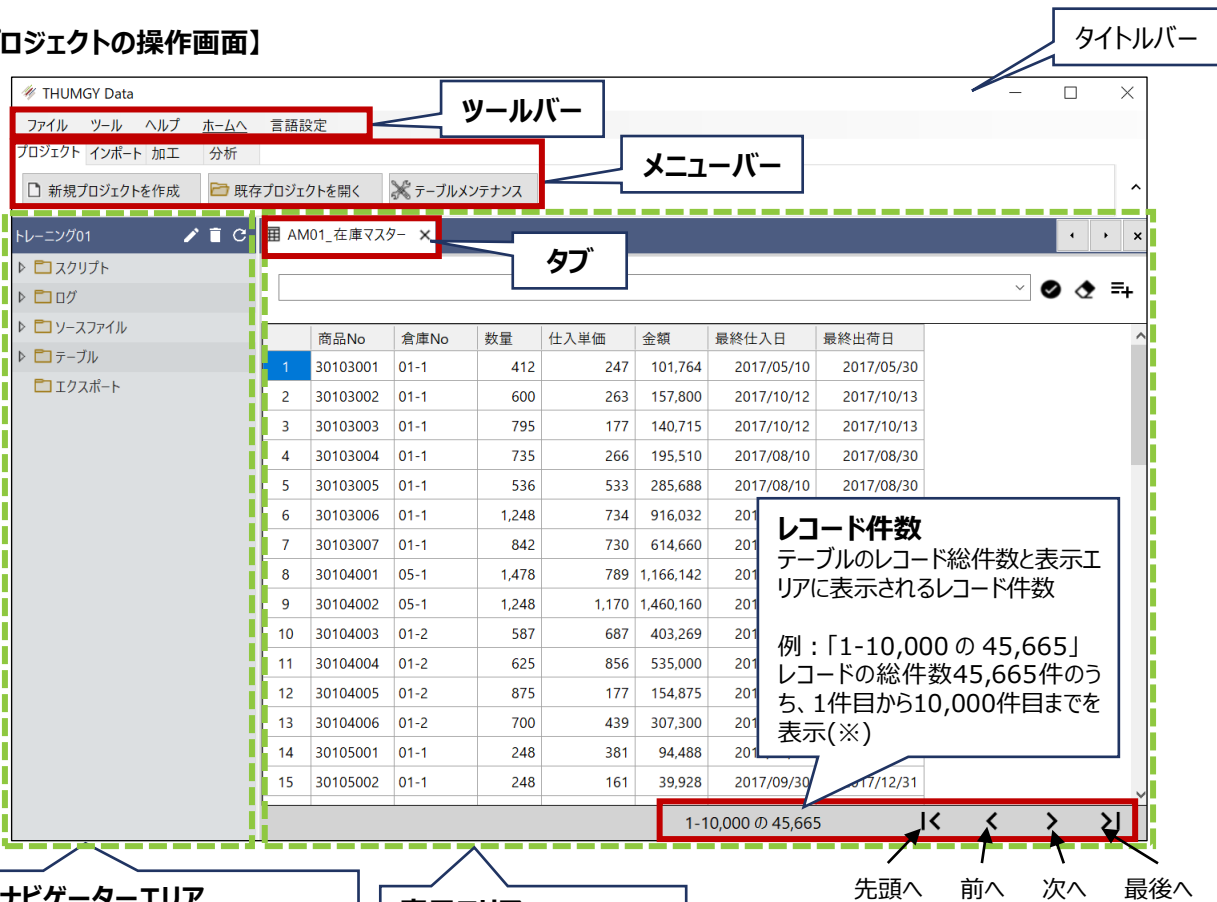
プロジェクトフォルダ内に自動的に作成されるフォルダ（「01_script」～「05_export」）は、フォルダ名の変更やフォルダの削除、移動は行わないでください。システムエラーの原因となります。

◇THUMGY Dataの画面と名称

【ホーム画面】（THUMGY Data起動時の画面）



【プロジェクトの操作画面】



ナビゲーターエリア
プロジェクト内のスクリプト、ログ、データファイルを一覧表示するエリア
ナビゲーター上のフォルダとPC上のフォルダは連動しています。

表示エリア
ナビゲーターで開いた項目の内容が表示されるエリア

※1画面には最大10,000レコードが表示されます。10,000レコードを超える場合は、複数のページになります。ページの移動は、レコード件数の右に表示されるナビゲーションのアイコンで行います。

◇THUMGY Dataの用語

THUMGY Dataの主な用語です。

| 用語 | 説明 |
|------------|---|
| プロジェクト | データ分析のプラットフォームとなるファイル |
| プロジェクトフォルダ | プロジェクトが保存されているフォルダ |
| ソースファイル | データ分析の対象となるデータファイル |
| テーブル | ソースファイルのデータをTHUMGY Dataで扱うための表 |
| インポート | ソースファイルをTHUMGY Dataに取り込んでテーブルを作成する操作 |
| フィールド | テーブルの列 |
| レコード | テーブルの行 |
| メニューコマンド | THUMGY Dataのメニューバーから実行する各機能の総称 |
| ログ | プロジェクトで行った操作の履歴。 履歴全体または1件1件の操作の記録を「ログ」と言います。 |
| スクリプト | THUMGY Dataで作成する簡易プログラム。 1つのプログラム全体または1件の処理の記述を「スクリプト」と言います。 |
| コマンド | スクリプトで使用される操作の命令文 |
| ライセンス管理機能 | THUMGY Dataを利用するためのユーザID、ライセンス割当などを管理するWebアプリケーション |
| 認証 | THUMGY Dataを利用するためのユーザIDをライセンス管理機能と照合すること |

◇制限事項

- テーブル名、フィールド名、スクリプト名、ログ名、エクスポートファイル名の長さは、64文字までです。
- テーブル名、フィールド名、スクリプト名、ログ名、エクスポートファイル名には、以下の文字は使用できません。
= ` + > < , - _ . / ! @ # \$ % ^ & * ' ¥ ? ; () : | [] 全角スペース 半角スペース
- 1つのテーブルのフィールド数は、300フィールド程度です。フィールド数が増えると、処理速度が低下する要因となります。
- 文字型フィールドで扱える文字数は、4,000文字程度です。
- 現在は、数値型フィールドで扱える桁数は、整数部分16桁、小数部分5桁までです。
- 日付型フィールドは、1900年1月1日以降のデータを扱うことができます。ただし、現在は、1970年～2262年の範囲外の日付計算は、結果が保証されません。